



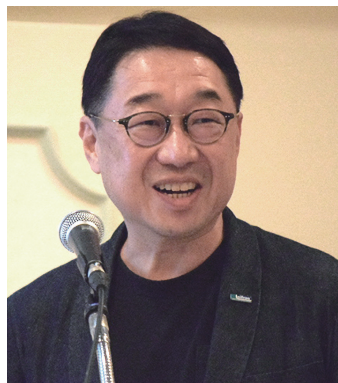
COMPANY PROFILE

リーフラス株式会社 本社

東京都渋谷区恵比寿4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー20F
TEL:03-6451-1341 URL: <https://leifras.co.jp/>
(2025.06)



Message



代表取締役 伊藤 清隆

スポーツを変え、 デザインする

行動規範

自分にも
社員の公私における幸福の
実現

相手に
顧客(成長第一主義)

会社に
企業の持続的発展のための
自己資本の拡大

社会に
以上の結果としての社会貢献

事務所一覧 Office Locations

2025年5月現在



所在地

本社
東京都渋谷区恵比寿4-20-3
恵比寿ガーデンプレイスタワー 20F
TEL:03-6451-1341

福岡事業所
福岡県福岡市博多区博多駅前3-23-22
シティ22ビル 2F
TEL:092-260-7224

※スポーツスクールの会員数 3年連続国内No.1 ●スポーツ施設を保有しない子ども向けスポーツスクール企業売上高上位3社の会員数と比較 ●会員数の定義として、会員が同種目・異種目に関わらず、複数のスクールのに通う場合はスクール数と同数とする。※スポーツスクールのスクール数 3年連続国内No.1 ●スポーツ施設を保有しない子ども向けスポーツスクール企業売上高上位3社のスクール数と比較 ●キッズ・小学生で分かれている場合は、それぞれを1スクールとする。※部活動受託校数 国内No.1 ●部活動支援事業売上高、上位3社の2024年の受託校数を比較
いずれの調査も株式会社東京商工リサーチ調べ 2024年12月時点

私たちリーフラスは、企業理念として「スポーツを変え、デザインする。」を掲げ、あらゆる社会課題を解決するソーシャルビジネスを、スポーツ部門とソーシャル部門を軸として実践しております。スクール事業では、「ココロに体力を。」を指導理念として、“人間力”とも呼ばれ、現代の教育において注目されている「非認知能力」を育むスポーツサービスを提供しております。さまざまな厳しい社内研修を経たプロの指導員が、「認めて、褒めて、励まし、勇気づける」指導を創業より一貫して行った結果、43都道府県での展開・23年連続増員・スクール数約4,500拠点・会員数約70,000名(2025年3月現在、加盟店スクールの会員数を含む)となり、子ども向けスポーツスクールとして会員数、スクール数共に3年連続国内No.1※に位置しております。

少子化や教職員の働き方改革を踏まえ、持続可能な部活動を維持することを目的に、スポーツ庁は運動部活動の地域連携や地域スポーツクラブ活動移行を打ち出しました。2025年度までが「改革推進期間」と位置づけられており、2026年度以降は「改革実行期間」として、いよいよ学校部活動の改革が本格化します。弊社は、各自治体の多様なニーズに対応する窓口となり、スポーツ庁が作成したガイドラインを基に、質の高い運動部活動サービスを提供しております。弊社が部活動を支援している学校は全国で328校にのぼり(2025年現在)、2024年の部活動受託校数 国内No.1※の実績を誇ります。名古屋市立小学校全校の支援事業は、日本初の自治体全体での小学校部活動の民間委託事例となりました。

弊社は、スポーツ療育を提供する放課後等デイサービス「LEIF」を運営しており、発達に特性のある子どもたちへの自立支援を行っています。チームスポーツであるサッカーをメインに、コミュニケーション能力や努力する力、自己肯定感などを育み、現在10都道府県で20事業所(2025年4月現在)を運営しています。

さらに、地域の資源(体育館・運動場)を有効に活用し、子どもたちや高齢者などに運動サービスを提供しています。地域に密着した活動を意識して努めることで、地域と共に動く(地域共働事業)ことを目指しております。

引き続き一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



Company Overview

会社概要

社名 リーフラス株式会社
(英文社名: LEIFRAS CO.,LTD.)

会社設立日 2001年8月

代表者 代表取締役 伊藤 清隆

従業員数 3,980名 ※2025年6月1日現在

資本金 126,000,000円(資本準備金含む)
※2023年12月31日現在

事業内容

スポーツ部門

- スポーツスクール事業
- イベント事業
- アライアンス事業

ソーシャル部門

- 部活動支援事業
- ヘルスクエア事業
- 放課後等デイサービス「LEIF」事業
- 地域共働事業

子会社

- 株式会社アピコス

沿革

2001年 8月 リーフラス有限会社設立
サッカースクール開校

2002年 8月 株式会社へ組織変更

2006年 5月 ベースボールスクール開校
リズムミックカラテスクール開校

2009年 5月 剣道スクール開校

2010年 4月 バスケットボールスクール開校
5月 テニススクール開校

2011年 3月 東京都中央区日本橋に本店移転

2012年 6月 アスレチックスクール開校

2013年 6月 ガールズサッカースクール開校
7月 多種目スポーツスクール開校

2016年 5月 バレーボールスクール開校
11月 東京都渋谷区広尾に本店移転

2018年 5月 Management office 開設

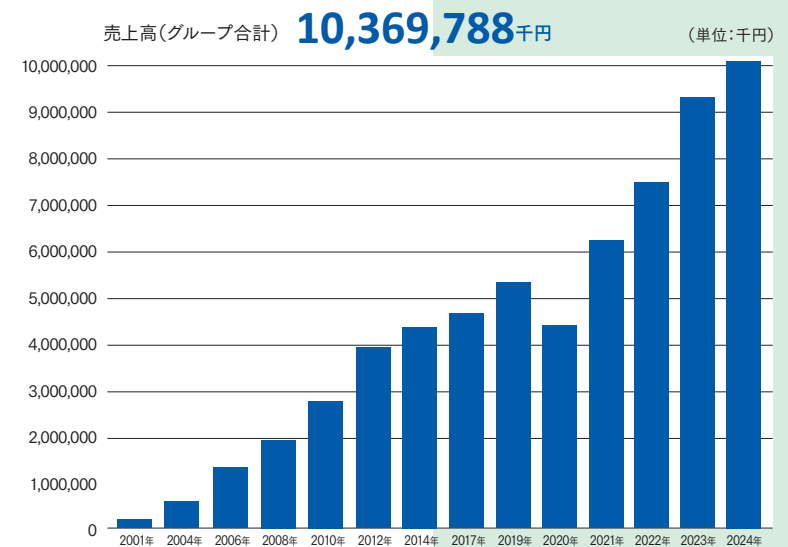
2019年 4月 東京都港区愛宕に本店移転

2020年 4月 株式会社アピコス設立

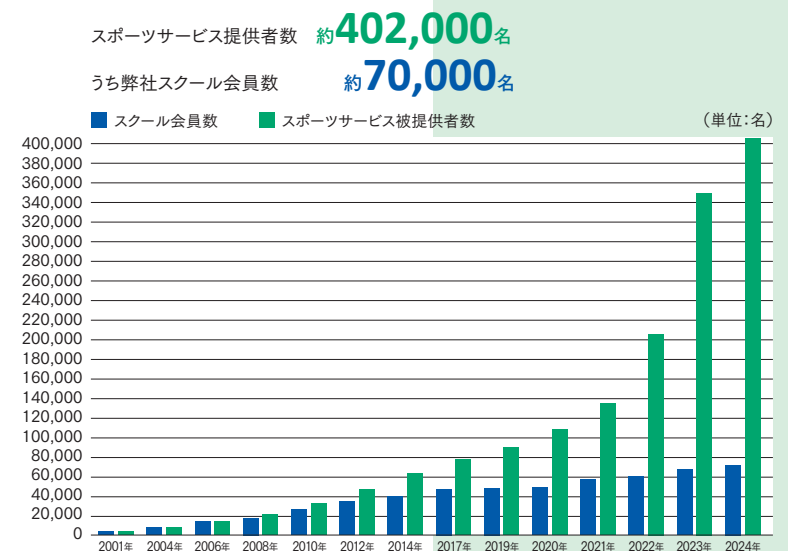
2021年 3月 東京都渋谷区広尾に本店移転
4月 チアダンススクール 開校
5月 ダンススクール 開校
8月 東京都渋谷区恵比寿に本店移転

2022年 4月 卓球スクール開校

売上高の推移(2024年12月現在)



会員数の推移(2024年12月現在)



カンブリア宮殿に出演しました!

日本一のスポーツスクールとして
取り上げられました。



Educational Policy

リーフラスの教育理念

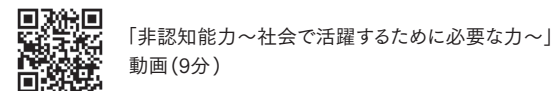
子どもたちが「社会で強く、たくましく生きていく力」を身につけるために

子どもは、子ども同士が交流する中で「学び合い」育ち成長していきます。リーフラスでは、スポーツという体験活動を通して、自主性や勤勉性、他者を尊重する心など豊かな人間性を育み、社会で強くたくましく生きる力を育てます。子どもの教育にスポーツを取り入れることにより、スポーツによる体力の発達、スポーツを楽しみながら情緒の安定、根気よくスポーツに取り組む活動からやり抜く意志の発育、チームワークを大切にしたスポーツ活動から社会性の発達を促します。

リーフラスのスポーツ指導は、子どもたち一人一人の活動を的確にとらえる個別に対応した指導実践から、子どもたちの「スポーツ力」や「人間力」を育て、未来を担う子どもたちが社会でよりよく生きていくためのサポートをしまいたします。

社会で強くたくましく生きる力 ＝「非認知能力」を育む教育

子どもたちが、社会に出てよりよく活躍できるようになるためには、学力はもちろん、それ以上に「非認知能力」の育成が大切です。非認知能力とは、リーダーシップや協調性、課題解決能力など「生きる力」とも呼ばれるもので、これらの力を子どものうちに身につけることが、社会でたくましく生きる人材となることにつながります。リーフラスの指導者は、指導方針のひとつでもある「**認めて、褒めて、励まし、勇気づける**」指導のもとに、子どもたちがスポーツを通して学び得た「自分ができる」という体験を大切に積み重ね、自らが自己の持つ能力を引き出す指導を実施しています。



「非認知能力～社会で活躍するために必要な力～」
動画(9分)

最高教育責任者・高山 修による教育研修を実施

弊社では、教育者の高山 修氏を最高教育責任者とし、高山氏の提唱する「体験教育論」から『個に対応した指導』を基礎とした子どもの指導研修を毎月実施しています。弊社の指導者は、研修を通して、子どもにとってよりよい教育のあり方を理解し、スクール運営や子どもたちの指導に活かしています。



高山 修 プロフィール

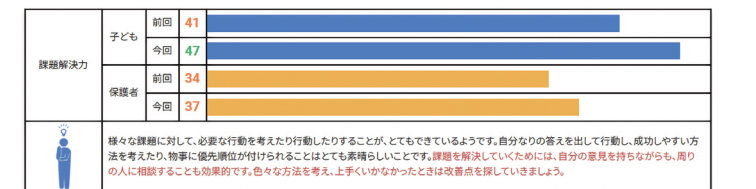
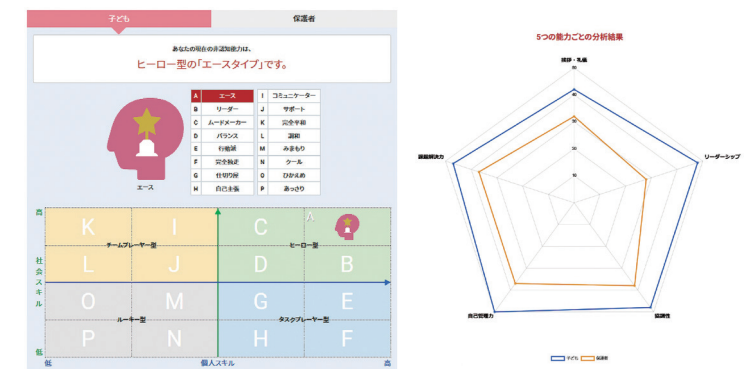
1936年、松本市生まれ。玉川大学で教育学を学び、卒業後玉川大学で教育研究実践を進め「体験教育論」を推進する。長野県義務教育教諭となり小・中学校の教育に携わり、体験を重視した教育実践を進め、教頭・校長を歴任する。中学校長時代にオーストラリア・アデレードとメルボルンの小・中・高等学校と交流しお互いに訪問しあい、留学生も誕生した。退職後、教育委員会教育委員を務めフォレストバル玉滝塾を開設し、山村交流事業を進める。その傍ら、子どもの教育の実践・推進に向けて学習塾のクリップコーポレーションの運営に携わる。さらに、子どもの教育の実践として、子ども向けにスポーツ指導を行うリーフラス株式会社の設立に参加し、その運営にたずさわり現在に至る。2025年1月、国から瑞宝章を授与される。

非認知能力測定システム「みらぼ」mirai laboratory

学力テストでは測れない非認知能力の 測定を可能にした「みらぼ」で、 お子様の成長を視える化

リーフラスは、スポーツスクールにおいて蓄積してきたノウハウをもとにスポーツ心理学の専門家と共同研究を行い、非認知能力を視える化。子どもがイメージしやすい16のタイプで測定結果を表示し、リーフラスが最も重要な非認知能力として掲げている5つの力(挨拶・礼儀、リーダーシップ、協調性、自己管理能力、課題解決力)もそれぞれ数値化して、フィードバックを可能にしたツールが「みらぼ」です。

経年の子どもたちの変化や保護者・子どもの測定比較などの測定結果をもとに保護者、指導者で子どもの現在地を知り、今まで以上に一人ひとりの子どもたちに光を当て、今後の成長につなげていきます。

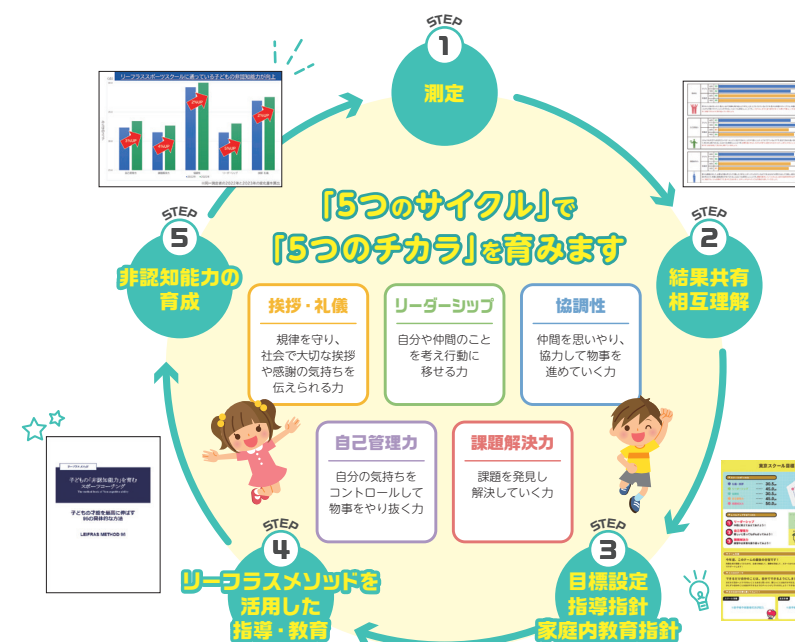


▲「みらぼ」測定結果(例)※他の力も同様に表示されます

累計150,000名以上の測定データをもとに非認知能力を研究

非認知能力を育む育成・指導・教育サイクルで子どもたちの非認知能力の成長が明らかに

リーフラススポーツスクールでは、当社独自で開発した「子どもたちの非認知能力を育むスポーツコーチングメソッド」(リーフラスメソッド)を活用し、子どもたちの非認知能力を育む指導に取り組んでいます。「みらぼ」で非認知能力を測定して現在地を知り、非認知能力向上の目標を定め、リーフラスメソッドを用いて非認知能力を伸ばす指導を実施するというサイクルにより、リーフラススポーツスクールに通う子どもたちの非認知能力の成長が明らかになりました。この結果をもとに、会員様向けサービスとして生まれた「みらぼ」を、公教育機関などにも提供し、さまざまな子どもたちの非認知能力の成長に貢献できるよう、今後もサービスを展開してまいります。



非認知能力を育む育成・指導・教育サイクル

実績・メディア掲載事例

- 2025年
 - ウェルビーイング・コミュニティ・メディア「Wellulu」掲載
- 2024年
 - 兵庫県事業「ひょうごTECH イノベーションプロジェクト」採択、兵庫県加西市と提携して子どもたちの非認知能力育成を支援
 - キッズデザイン賞／子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門 調査・研究
 - 福島大学「スポーツ」×「教育」キャリア養成講座
- 2023年
 - キッズデザイン賞／子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門 調査・研究
- 国際学術論文ジャーナル「Digital Life」論文掲載
- 2022年
 - 首都圏模試センター創刊中学受験情報誌「myTYPE」掲載



スポーツスクール事業

スポーツスクールの運営

子どもたちの「ココロに体力を。」を指導理念として、社会で活躍できる人材を育てるスポーツ指導をしております。さまざまな厳しい社内研修を経たプロの指導員が、子どもたちの技術面はもちろん、社会で必要な勤勉性・思いやり・忍耐力・協調性など、現代の教育において注目されている「非認知能力」を育てることを目的としております。子どもたちが育つ上で大切なスポーツ環境を変えていくことが、より良い社会につながると、私共は考えております。

■ 当スクールで身につく非認知能力

私たちが運営するスポーツスクールでは、スポーツを通じて子どもたちの非認知能力を飛躍的に伸ばします。将来、子どもたちが大人になって社会で活躍するためには、単なる頭の良さ(IQ)だけではなく、非認知能力と呼ばれる力を伸ばすことが重要であると研究で判明しております。当スクールでは、子どもの非認知能力が育まれるよう、第一に子どもが「楽しい」と感じる指導をしております。楽しいと感じることはすべての動機になり、積極性や好奇心が自然と身についていきます。また、さまざまな学年の子どもたちが一緒に活動することで、相手に対して思いやる心や助け合う大切さを学び、成長していきます。

■ 「安全」「教育」「指導」の弊社独自の研修を受けた指導員によるスクール指導

安全面、精神面、技術面に関する厳しい社内研修を経たプロの指導員が、一人ひとりのペースに合わせ「認めて、褒めて、励まし、勇気づける」指導をしております。また、子どもたちに指導員の一方的な意見や考え方を与えるのではなく、子どもたちからアイデアや考えを引き出すスタイルをモットーとし、思考力や行動力を培う指導をしております。

■ 安全で安心できるスポーツ環境の提供

スクール指導を行う指導員は救命講習を修了しており、定期的に安全研修を受けております。また、熱中症への対策実施やスクール会場近くのAED設置場所、避難場所、病院などの把握もしており、緊急時も適切な対応をできるよう備えております。

アライアンス事業

プロスポーツチームとの連携

リーフラスはさまざまなプロスポーツチームと連携しております。各地域のプロスポーツ団体と共同しており、今後も日本のスポーツ振興を加速してまいります。



阪神タイガース
ボルテ×タイガースアカデミー
ベースボールスクール



千葉ロッテマリーンズ
ベースボールスクールボルテ×
マリーンズ×ベースボール
アカデミー



香川
オリーフ
ガイナース



福岡ソフトバンク
ホークス
ボルテ×福岡ソフトバンク
ホークスベースボールスクール



鹿児島ユナイテッドFC
鹿児島ユナイテッドFC×
リベルタサッカースクール



千葉ジェッツふなばし
千葉ジェッツふなばし公認
バスケットボールスクールハーツ



愛媛
マンダリン
バイレーツ



徳島
インディゴ
ソックス



株式会社 東京商工
リサーチ調べ
2024年12月時点

・スポーツ施設を保有しない子ども向けスポーツスクール
企業売上上位3社の会員数と比較
・会員数の定義として、会員が同種目・異種目に問わず、
複数のスクールに通う場合はスクール数と同数とする。



会員数 約**70,000**名
(加盟店スクールの会員数を含む)

スクール数 約**4,500**



株式会社 東京商工
リサーチ調べ
2024年12月時点

・スポーツ施設を保有しない子ども向けスポーツスクール
企業売上上位3社のスクール数と比較
・キッズ・小学生で分かれている場合は、それぞれを1スクール
とする。



リベルタ
サッカースクール



ベースボールスクール
ポルテ



バスケットボールスクール
ハーツ



多項目スポーツスクール
JJMIX



テリオス
アスレチックスクール



リズムミックカラテ
クオレ



こころ
剣道スクール



テニススクール
プリマステラ



ルジーナ
ガールズスポーツスクール



バレーボールスクール
ルミゼ



ダンススクール
クルール



チアダンススクール
フルール



卓球スクール
アラージ

イベント事業

子どもの人間力の育成、地域の活性化

スポーツをはじめとするさまざまな体験活動を通じて、子どもたちの人間力の育成を図っております。また、地域と連携してスポーツを実施することにより、地域とスポーツの活性化を図ります。

■ 合宿活動で育む自立心

合宿活動での体験は豊かな人間性を育む絶好の機会です。親元を離れることで、感謝の気持ちや自分のことは自分ですという「自主自立」の精神を育てています。

■ 子どもの未来を見据えたスポーツ大会

学年・性別問わず子どもたち全員が試合に出場します。試合を通じて、競技の楽しさ、仲間の大切さ、勝つ喜び、負ける悔しさを感じてもらうことで心身の健全な育成と友情の交歓を図ります。子どもの未来を見据え、スポーツ大会を通じて、内面的成長を育めるよう尽力しています。



▶ スポーツ指導員の例

指導歴 8年目
資格 中学校教諭一種免許状
(保健体育)、高校教諭一種
免許状(保健体育)
スポーツ歴 14年(野球)
子どもたちが成長を感じられる指導を
心がけています。できないことができる
ようになれば楽しいし、試合で達成感
を得られると、もっと頑張ろうと思えます。
子どもたちが生涯スポーツを楽しく
続けられることを目標にしています。



School Support

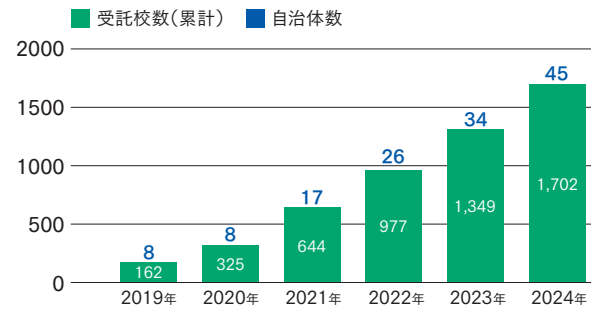
部活動支援事業



部活動支援への想い

部活動は日本のスポーツ・文化振興、人間関係の構築など、多様な学びの場として教育的意義を有しています。しかしながら、教育への過大な負担や、少子化による部活動の地域間格差、体験機会の減少など、部活動の在り方は転換期を迎えています。リーフラスは多様なニーズに対応する総合窓口として機能し、**持続可能な部活動体制の構築**をサポートします。

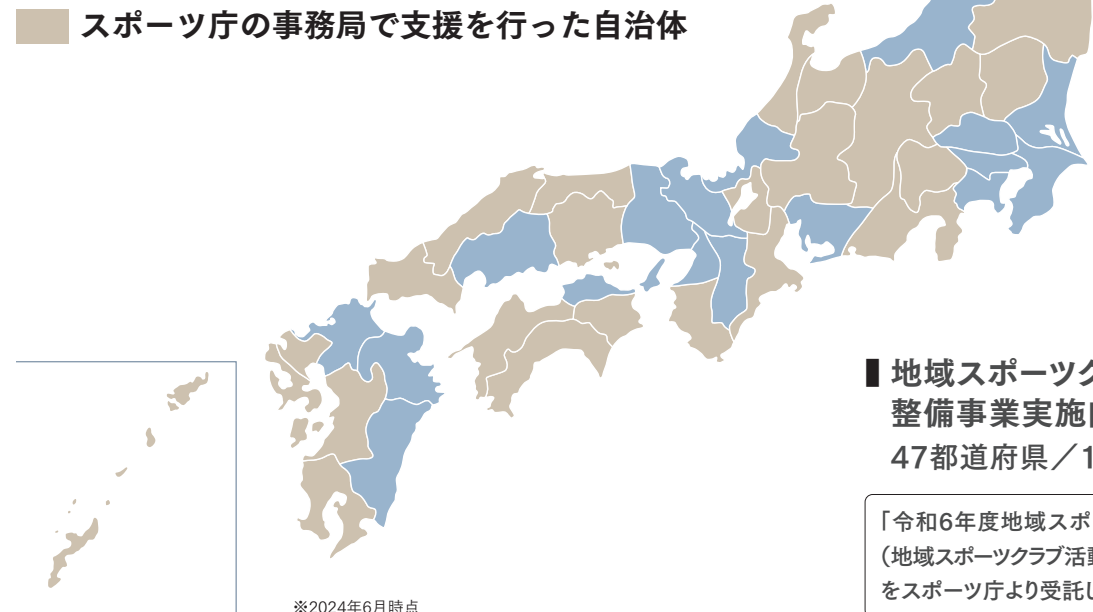
●部活動受託校数(累計)



受託実施エリア

北海道	宮城県	新潟県	茨城県	千葉県
埼玉県	東京都	神奈川県	福井県	愛知県
京都府	奈良県	兵庫県	大阪府	香川県
広島県	福岡県	大分県	宮崎県	

スポーツ庁の事務局で支援を行った自治体



※2024年6月時点

■地域スポーツクラブ活動体制整備事業実施自治体 47都道府県／17政令指定都市

「令和6年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業（地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業）」をスポーツ庁より受託し、事務局業務を実施しました。

①弊社社員が部活動統括責任者として部活動を監督

弊社社員が部活動の統括責任者として学校・先生方、教育委員会、保護者、指導員、万が一の事故があった際の保険会社との対応も担当します。統括責任者は各校を巡回し、部活動が安全に行われていることも監督しています。

②子どもたちの安全が最優先 充実した指導者研修システム

部活動指導に当たる指導者はすべて、安全研修やコンプライアンス研修、子どもへの接し方やケガの処置の方法など、弊社指定の研修を受講し、テストに合格しています。子ども向けスポーツスクールを20年以上運営する弊社の指導ノウハウを部活動指導にも活用し、子どものやる気を引き出す指導を行います。

④学校での活動と同内容を補償する 保険を取り扱い

日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度と同等の補償の保険をご紹介します。保険会社とのやりとりは弊社統括責任者が担当します。

③受益者負担活動費の徴収システム完備

部活動の活動費を受益者（保護者）負担にする場合、教員に活動費徴収の負担がかかります。その負担を軽減するため、システムを導入しています。銀行振替など徴収方法も選択可能です。

⑤部活動運営システムによるスケジュール管理 人材バンク運営

雨天などのため部活動が中止になった際のスケジュール変更、児童・生徒の出欠管理などを弊社の部活動運営システムによって管理し、指導者と学校、保護者の間の連絡をスムーズに行います。指導者の人材バンク運営もおまかせいただけます。

部活動地域展開の制度設計から コーディネートまでワンパッケージ で対応しています！

地域によって部活動の課題はさまざまです。リーフラスは、部活動の制度設計から出欠連絡などの保護者対応、活動費受益者負担の際の活動費回収システムの運営、指導者の人材バンクの立ち上げなど、それぞれの地域にあわせた部活動支援をご提案いたします。

▶ 部活動指導統括責任者の例

指導歴 3年目
資格 柔道整復師・日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー
スポーツ歴 6年（陸上競技）

部活動改革の最前線で、学校や教員、生徒、保護者、部活動指導者の間の調整役となり、部活動改革のしくみを一から作り上げる、やりがいのある仕事です。相手に寄り添って対話し、なんでも相談してもらえる信頼関係を築けるよう心がけています。



After-school Daycare

放課後等デイサービス事業

放課後等デイサービス「LEIF」(リーフ)の運営

障がいのある子どもや、発達に特性のある子どもへスポーツ療育を提供し、運動を通じて「向上心」と「自己肯定感」を育みます。

放課後等デイサービスとは？

お子様の生活能力および社会性の向上を目的に、自立支援や集団生活へのサポートを行うサービスです。放課後等デイサービスLEIF(リーフ)では、発達効果が高いスポーツ療育をメインにお子様のさまざまな成長を促し、自立につながる支援を行っています。

■ 支援方針

- スポーツを通して目的意識を明確に持つことで、目標を達成する意欲へとつなげていきます。
- 少しずつできるようになっていく自分を感じてもらえるように、認めて、褒めるポイントを多く作りながら支援していきます。
- トライ＆エラーの経験を通して、うまくいかなくても挑戦したこと自体を認めて、褒めていきます。

■ 支援内容

家族支援

定期的な保護者面談を行い、支援内容の共有と必要に応じた助言を行います。

移行支援

活動における様子や変化について、学校・保育所等や行政機関と連携を図り、より良い支援の提供につなげます。

地域支援・地域連携

活動を通して地域との関わりを持つ機会を設け、積極的な地域交流を図ります。

職員の質の向上

定期的な研修・勉強会の実施や資格取得の促進により、職員の質向上につなげます。



LEIF で育まれる力

運動を楽しみながら考える力、チームプレーから得られるコミュニケーション能力や仲間を思いやる気持ち、継続していく力、努力する力、自己肯定感、そして体力など、子どもたちが成長するうえで必要な「ココロの体力」を、スポーツ療育を通じて育んでいきます。



運動・感覚

- スポーツを中心とした個別・集団での運動プログラムを通して、日常生活の基本となる姿勢保持の改善や運動・動作の技能向上につなげます。
- 運動による感覚統合アプローチから、固有受容覚や前庭覚等の感覚器の発達を促し、身体動作の適切なコントロールにつなげます。

プログラム例 コーディネーショントレーニング 等



認知・行動

- 活動を通して時間を意識し見通しを立てることで、自ら気付く行動できるように支援します。
- スポーツを通した活動の準備や片付け等、仲間と共に協力して取り組むことで、場面に応じた適切な行動についての理解を深めます。

プログラム例 サーキットトレーニング 等

健康・生活

- 体調管理や整理整頓、環境に合わせた衣服調整等、活動を通して体力向上と環境への適応能力を高めます。
- スポーツを行うことにより、身体を動かすことで、食事と睡眠の質を高め生活リズムを整えます。

プログラム例 スポーツ活動全般、公園遊び 等



健康状態

人間関係・社会性

- スポーツを通して、ルールを守ること、仲間を称賛する気持ち、相手へのリスペクトを学び、豊かな心を育みます。
- 集団活動における互いに相手を気遣い理解し合う経験を通して、異学年交流による社会性を身に付けます。

プログラム例 試合形式トレーニング、社会科見学 等

スポーツ活動

集団行動・参加

言語・コミュニケーション

- 活動におけるコーチングを通して自主的に考える問い掛けを行い、自由な発話と自発的なコミュニケーションの促しを図ります。
- ミスを前提としたチームスポーツを通し、さまざまな場面での仲間に対する声掛けなど、仲間と協力し合う思いやりの素地を作ります。

プログラム例 レクリエーション活動 等



児童発達支援

※一部店舗にて実施

児童発達支援は、0歳から6歳までの未就学児のお子様に対して療育を行う施設です。児童発達支援と放課後等デイサービスを併設することで、より幅広い年齢のお子様に一貫した療育を提供することが可能となりました。お子様の就学前から就学後まで通っていただくことで、同じスタッフが一貫したビジョンを持ち、継続的な療育を提供することができます。

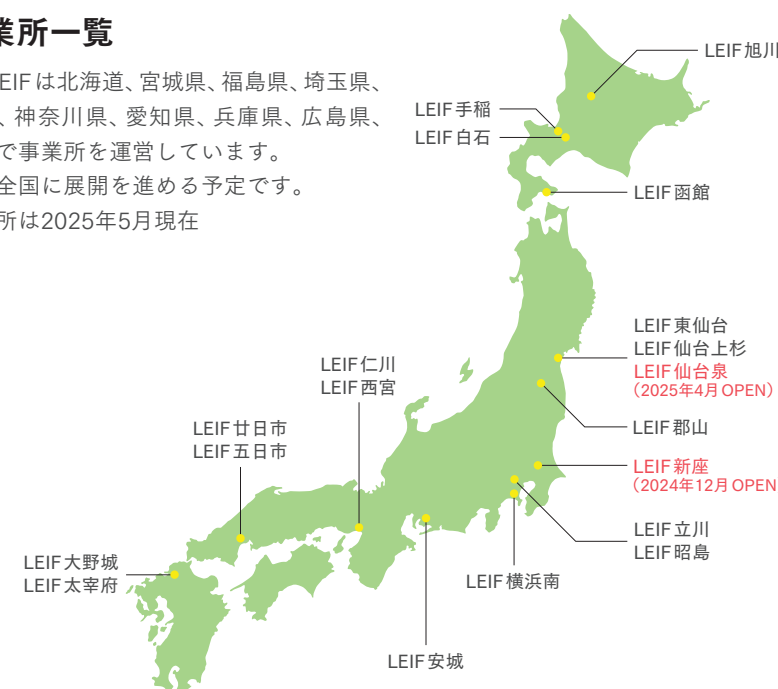
保育所等訪問支援

※一部店舗にて実施

保育所等訪問支援は、2012年の児童福祉法改正で創設された、障がいのある子どもが保育所や学校などの集団生活に適応できるよう、専門の支援員が訪問してサポートするサービスです。月に1〜2回程度を目安に、保育所、学校などの施設での子どもの様子を観察し、困りごとを分析して支援。児童指導員や保育士、理学療法士、作業療法士などの専門知識を持った支援員が担当します。

■ 事業所一覧

現在、LEIFは北海道、宮城県、福島県、埼玉県、東京都、神奈川県、愛知県、兵庫県、広島県、福岡県で事業所を運営しています。今後も全国に展開を進める予定です。
※事業所は2025年5月現在



▶ LEIF 職員の例

指導歴 3年目
資格 中学校教諭一種普通免許状(保健体育)・高等学校教諭一種普通免許状(保健体育)
スポーツ歴 16年(競泳)

子どものチャレンジを支え、成長に貢献できる仕事がしたいと考え、LEIFに勤務しています。子どもたちには笑顔で接することを心がけ、話をしたいと思ってもらえる雰囲気大切に、日々療育に取り組んでいます。



Regional Joint Venture

地域共働事業

地域のスポーツ振興活動

リーフラスでは、“地域と共に動く”をテーマにさまざまな社会問題や地域課題に対して各都道府県で共働し、ビジネスの手法をもって課題解決に取り組んでいます。これまでに、総合運動施設の運営管理をはじめ、各自治体と共働したスポーツイベントの開催や小学校体育学習実技指導員としての活動等、地域活性化のためのサポートを行っています。

事例① 体育授業の受託

小学校では体育の専科教員を置いている学校は少なく、指導体制の充実が求められています。弊社では体育授業を受託し、よりよい体育指導を行うためのサポートを行っています。

【実績】

- 2024年度 大阪府大阪市内、8区の小学校にて体育授業支援を実施

事例② 放課後事業の受託

子どもたちが放課後に小学校内や校庭などで自由に学び、遊ぶための居場所を作る事業を、さまざまな自治体から受託しております。

【実績】

- 2025年度 兵庫県神戸市小学校における放課後運動遊びの運営・見守り等業務 82校受託
- 2025年度 福岡県福岡市放課後等遊び場づくり事業26校受託

事例③ 子ども向けスポーツ指導の実施

幼稚園やサマースクールなどで、校庭や体育館を利用した子ども向けのかけっこ教室や、器械運動教室などを実施しております。

【実績】

- サマースクールでのかけっこ教室の実施
- 放課後児童向けスポーツ教室の実施など

事例④ 企業向け企画の実施

企業で実施するスポーツイベントの運営や、ビジネスパーソンらの運動不足の解消・健康意識の増進を目的とした指導を実施しております。

【実績】

- 教職員対象運動会の実施
- 企業向けメンタルヘルス研修の実施など



事例⑤ 体育館・グラウンドの運営管理の実施

子どもから高齢者まで老若男女がスポーツを身近に感じられる環境を作り、地域活性化につなげるため、指定管理者としてスポーツ施設の運営を行っています。

【実績】

- 北海道黒松内町総合体育館にて体育館の運営受託
- 福岡市総合体育館PFI事業に参画
- 「中津市複合文化施設コアやまくに」の施設運営



事例⑥ 地域活性化のためのスポーツイベントの実施

地域活性化のためのスポーツイベントを企画・運営し、スポーツを通じて地域を元気にする取り組みを行っています。

【実績】

- 蹴 - 1グランプリ開催 (2024年は大分県中津市で実施)



ヘルスケア事業

高齢者向け健康運動サービス

生涯スポーツや健康寿命への関心が高まる中、高齢者への運動指導も年々関心が高まっております。リーフラスでは身近な公民館や教室、老人保健施設などで高齢者の健康増進・健康寿命の延伸を図るため、介護予防運動や健康ヨガ体操の指導を行っています。また、地域の資源を有効に活用し、地域に密着した活動を意識しております。

【高齢者向け運動健康サービスの特徴】

● 経験豊かで優秀な指導者

社内研修を経たプロの指導員が健康寿命の延伸を目的としたプログラム運動指導を担当いたします。

● 高い安全基準のプログラム

平均寿命の延伸に伴い、健康寿命との差を縮小することを目的として、オリジナルのプログラムを作成し、楽しくて安全な運動をご提供いたします。

● 大切にしているコミュニケーション

参加者と指導者、また参加者同士のコミュニケーションを大切にしており、「運動を通じた笑顔の時間」を創造いたします。



■ 経済産業省 健康寿命延伸産業創出事業受託

地域の実態に応じたヘルスケアビジネスの創出に向けた取り組みが認められ、平成 30 年度は総合メディカル株式会社と共同で事業の受託をしています。

■ 介護施設での指導

指導者を派遣し、健康運動指導を実施しております。さまざまなニーズに合わせたプログラムを提供しております。

■ 地域行政が運営する施設での指導委託

行政よりご依頼を受け、体育施設や公民館で健康運動指導を実施しております。

■ 企業と連携した健康増進活動の実施

企業と連携した健康に関する講義や相談会、運動教室などを実施しております。

Corporate Social Responsibility

CSR活動

団体支援

多くの団体様と共同でさまざまな社会貢献活動を実施しております。
下記以外にも、多数の団体様と社会貢献活動を実施しております。

■ SPORT FOR TOMORROW

Sport for Tomorrowは、2014年から東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けた、発展途上国をはじめとする100ヵ国以上・1000万人以上を対象に、日本政府が推進するスポーツを通じた国際貢献事業です。弊社では、ベトナムでの学校建設と、学校プロジェクトを通して教育への理解と村の発展を推進する活動を行っております。



■ 東京都スポーツ推進企業

東京都スポーツ推進企業とは、社員のスポーツ活動を推進する取り組みや、スポーツ分野における社会貢献活動を実施している東京都内に本社又は事業所を置く企業などのことで、申請に基づき、東京都が認定します。弊社は平成27年から7年連続で認定されております。



■ スポーツエールカンパニー制度

スポーツエールカンパニー制度とは、運動不足である「働き盛り世代」のスポーツの実施を促進し、スポーツに対する社会的機運の醸成を図ることを目的として、平成29年度から社員の健康増進のためにスポーツの実施に向けた積極的な取組を行っている企業をスポーツ庁が認定している制度になります。



セカンドキャリア支援

弊社では元プロスポーツ選手が第一線の競技生活の中で培ってきたものに価値があるという考えのもと、積極的に元プロスポーツ選手のセカンドキャリア支援を実施しております。



太田 徹郎
サッカースクール指導員
元プロサッカー選手(柏レイソル)



林 祐征
サッカースクール指導員
元プロサッカー選手(ギラヴァンツ北九州)

パラアスリート

パラリンピアンを正社員として雇用し、基本的には労働時間全てを練習や指導に打ち込める環境を整えるなどの支援を行っています。また、社会的知名度の向上のため、積極的に講演・体験会を企画・開催し、パラスポーツの普及活動や共生社会の実現に努めております。

■ パラリンピアン支援

2名のパラリンピアンを正社員として雇用しており、パラスポーツの魅力を発信しています。



安達 阿記子
ゴールボール選手
ロンドンパラリンピック金メダリスト



安岡 チョーク
車いす陸上競技選手
アテネパラリンピック金メダリスト

ダイバーシティ・インクルージョンの普及活動

弊社所属のパラリンピアンが講演会やイベントを実施します。障がいのある人もない人も、女性も男性も誰もがいきいきと生活できる、活躍できるダイバーシティ(多様性)のある社会を創造していきます。



パラスポーツ授業を実施しています

ご依頼いただいた学校でパラスポーツ授業を実施しております。
実際に弊社に所属しているパラリンピアンが授業を行うことも可能です。

